

第42回資金管理業務諮問委員会 議事録

1. 日時:平成23年6月14日(火)13時～15時30分
2. 場所:公益財団法人自動車リサイクル促進センター 第1・第2会議室
3. 出席者:永田委員長、鬼沢委員、小島委員、酒井委員、辰巳委員、細田委員、米澤委員 以上7名出席
その他 公益財団法人自動車リサイクル促進センター事務局(議案説明者を含む)、経済産業省・環境省担当官が出席
4. 議題:①平成22年度事業報告書(案)、平成22年度再資源化預託金等特別会計決算報告書(案)、平成22年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書(案)及び平成22年度資金管理料金特別会計決算報告書(案)について
②平成22年度の再資源化預託金等の運用評価について
③平成22年度離島対策等支援事業の実施結果について
④平成22年度の外部業務監査結果について
⑤コンタクトセンター次期委託事業者選定手続きに係る特別監査結果について
⑥平成22年度内部監査結果に基づく監査室の提言への対応について
⑦東日本大震災による番号不明被災自動車の処理に要する費用に係る平成23年度再資源化預託金等特別会計、平成23年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計及び平成23年度資金管理料金特別会計の収支補正予算書(案)について

5. 議事録

(1)議題①について

平成22年度事業報告書(案)、平成22年度再資源化預託金等特別会計決算報告書(案)、平成22年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計決算報告書(案)及び平成22年度資金管理料金特別会計決算報告書(案)について、事務局から資料3-1から資料3-9までを使用して説明。案のとおり承認された。
委員からは次の意見があった。

<意見> (注)○は委員、●は事務局

- 「監査報告書」「検証報告書」「レビュー報告書」における監査法人の手続きの内容に違いはあるのか。
- これらの手続きの内容は実質的に同等であり、JARC全体の年度決算は「監査報告書」、資金管理法の三つの特別会計については、年度決算は「検証報告書」、四半期決算は「レビュー報告書」となる。

- 「監査報告書」「検証報告書」「レビュー報告書」がそれぞれ何を対象として作成しているのか分かる資料に修正してほしい。
- 修正する。

- 平成23年度のJARC全体の広報計画を報告してほしい。
- 次回以降の資金管理業務諮問委員会にて報告する。

(2) 議題②について

平成22年度の再資源化預託金等の運用評価について、事務局から資料4-1及び資料4-2を使用して説明。案のとおり承認された。

(3) 議題③について

平成22年度離島対策等支援事業の実施結果について、事務局から資料5を使用して説明。案のとおり承認された。

委員からは次の意見があった。

<意見> (注)○は委員、●は事務局

- 年度ごとの実績をみると、要請金額と申請金額の乖離もそれほどなくなり、台当たりの輸送単価も安定している。この制度が安定運用されていると認識してよいか。
- そのように認識している。
- 単年度分析だけでなく複数年度の分析ができるように時系列的なデータの整理を検討してほしい。
- 支援活動等の実務展開にあたっては、経年変化を見ながら行っている。
- 申請台数に大きな変動があった自治体について、その要因が分かるように説明を資料に付してほしい。
- 次回以降対応する。
- 「弾力的な運用(発生時にのみ申請を受け付け、出えんする)の検討」とあるが、いつから実施するのか。
- 平成24年度分から実施したいと考えている。

(4) 議題④について

平成22年度の外部業務監査結果について、事務局から資料6-1及び資料6-2を使用して説明。案のとおり承認された。

(5) 議題⑤について

コンタクトセンター次期委託事業者選定手続きに係る特別監査結果について、事務局から資料7を使用して報告。
委員からは次の意見があった。

- 「次回の事業者選定に備え、今回の選定手続で検討すべき課題を整理しておくことが望ましい」とあるが、これは既に整理しているのか。
- 本年度下半期に整理する予定である。

- 資料7のタイトルは「総括監査報告書の概要」が適当である。
- 修正する。

- 「コンタクトセンター次期委託事業者選定手続きは公平性・透明性の点で問題を認めない」とあるが、これは、「4. 監査基準」の「選定に係る全手続きについて恣意性が排除され、公平性・透明性が確保されていること」を確認したということではないのか。
- そのとおりである。その旨に資料を修正する。

(6) 議題⑥について

平成22年度内部監査結果に基づく監査室の提言への対応について、事務局から資料8を使用して報告。
委員からは次の意見があった。

- <意見> (注)○は委員、●は事務局
- 「業務・価格等の主たる項目以外の契約条件」とは何か。
 - 損害賠償や瑕疵担保責任に係る事項である。

(7) 議題⑦について

東日本大震災による番号不明被災自動車の処理に要する費用に係る平成23年度再資源化預託金等特別会計、平成23年度承認・認可済特定再資源化預託金等特別会計及び平成23年度資金管理料金特別会計の収支補正予算書(案)について、事務局から資料9-1から資料9-7までを使用して説明。案のとおり承認された。
委員からは次の意見があった。

- 番号不明被災自動車の中には処理内容・処理費用が確定していないものがあることが分かるように資料を修正してほしい。
- 修正する。

- 番号不明被災自動車の台数や必要となる特定再資源化預託金等の金額は見込みであるため、決算と予算とでは差が出る可能性はあるということか。
- 台数等はまだ確定することができないものであるため、差が生じる可能性はある。

以上